2025 年度 事業報告

本報告は、公益財団法人天田財団の 2025 年度(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)における事業報告を行うものです。

前年度から引き続き事業内容としては、金属等の加工に係る優れた基礎技術の研究活動への助成を通じて学術及び科学技術の振興を促し、併せてその成果の普及啓発活動を行いました。また、金属等の加工に従事する者の技能と地位の向上に有益な資格の取得に対する助成を行い、勤労意欲のある者に対する就労の支援を図りました。これらの事業により、わが国の産業及び経済の健全な発展に寄与する事を目的に事業を推進してまいりました。

本年度も研究開発助成について、重点研究開発助成と一般研究開発助成または奨励研究助成との重複申請を可能としたことから、重点研究開発助成への申請件数は前年度と同レベルとなりました。技能検定受検手数料助成については、昨年度より助成対象を 1 職種追加し、1 社あたりの申請上限数は前年度と同様に 20 名としました。

以下に実施した事業内容をご報告いたします。助成は、研究者からの応募を選考委員会にて公平且つ厳正に選考し、理事会にて採択を決定しています。

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する調査・研究に係る助成事業

1) 研究開発助成

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関（以下国内の研究機関とする）で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う研究者からの応募に対し、当財団の選考基準にふさわしい助成テーマ 67 件に助成金額 2 億 2,642 万円を交付いたしました。（前年度は 62 件に助成金額 2 億 2,709 万円を交付）

2) 奨励研究助成(若手研究者育成)

国内の研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う若手研究者(令和 8 年 3 月 31 日時点で 39 歳以下)からの応募に対し、優秀な若手研究者を育成するため、助成テーマ 18 件に助成金額 3,579 万円を交付

いたしました。（前年度は 25 件に助成金額 4,880 万円を交付）

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究に係る国際交流の促進及びその助成事業

1) 国際会議等開催準備及び開催助成

国内の研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等の開催準備について関連機関代表者からの応募に対し、助成 7 件に助成金額 650 万円を交付いたしました。（前年度は 10 件に助成金額 1,000 万円を交付）

海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される会議に対する準備・開催に対する助成については応募が無かったため、交付はありませんでした。（前年度は 1 件に 150 万円を交付）

2) 国際会議等参加助成

国際会議等参加助成は、旅費とは別に上限 15 万円までを申請できること及び地域ごとの旅費上限額を前年度同様としました。

国内の研究機関に所属する研究者のうち、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等へ参加する研究者個人からの応募に対し、助成 22 件に助成金額 1,661 万円を交付いたしました。（前年度は 21 件に助成金額 1,384 万円を交付）

若手研究者枠の応募に対し、助成 9 件に助成金額 516 万円を決定し、8 件分の助成金額 465 万円を交付し、うち 1 件は 2026 年度交付予定です。（前年度は 4 件に助成金額 225 万円を交付）

3) 国際シンポジウム準備及び開催助成(若手研究者枠)

国内の研究機関に所属する研究者自らが主催者となり、3 か国以上の研究者を招聘して開催する助成分野に関するシンポジウム等の応募に対し、助成 1 件に助成金額 50 万円を交付いたしました。（前年度は 2 件に助成金額 100 万円を交付）

3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究等成果の普及啓発事業

1) 研究成果報告書等の配布による普及啓発事業

2025 年度に報告された研究開発助成事業並びに国際交流促進助成事業の成果を「天田財団助成研究成果報告書 2025」としてまとめて 2,100 部を発刊し、国内研究機関・産業界等へ配布いたしました。（前年度は 1,800 部を発刊）

また、機関誌 「FORM TECH REVIEW」では毎年度特集テーマを設定し、過去の研究成果報告の中から特集テーマに相応しくかつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究成果を選考して、その研究者に改めて執筆いただいた論文を掲載して発刊・配布しており、2025 年度版として 2,100 部発刊・配布いたしました。（前年度も 2,100 部を発刊）

2) 研究成果発表会開催による研究成果の普及啓発事業

① 第 8 回レーザプロセッシング助成研究成果発表会

「レーザプロセッシングの半導体分野への応用」をテーマに、一般社団法人レーザー学会主催の OPIE'25 の公式併設イベントとして、会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式で 4 月 23 日にパシフィコ横浜で開催しました。研究者や企業開発者など、会場参加者数が 114 名、オンライン参加者数が 104 名でした。（前年度は会場参加者数 79 名、オンライン参加者数 57 名）

② 第 22 回天田財団塑性加工助成研究成果発表会

「鍛造を用いた材料プロセス開発」をテーマに、一般社団法人日本塑性加工学会後援行事として、春季講演会 2 日目の 5 月 15 日に姫路市コンベンションセンター　アクリエひめじで開催しました。会場参加者数が 103 名、オンライン参加者数が 14 名でした。（前年度は会場参加者数 96 名、オンライン参加者数 18 名）

3) 公共展を活用した研究成果の普及啓発事業

レーザプロセッシングに関連した公共展に参加して、企業の開発者等に向けて助成研究成果報告書等を配布する普及啓発事業を行いました

① OPIE’25　　4 月 23 日 ～25 日　パシフィコ横浜

② MF-TOKYO2025　　7 月 16 日 ～19 日　東京ビッグサイト（初出展）

4) 2025 年度天田財団助成式典開催による普及啓発事業

2025 年度前期に採択された助成者に対する「助成金目録贈呈式」を次第とした「2025

年度天田財団助成式典」を 11 月 29 日に AMADA FORUM（神奈川県伊勢原市石田３５０）で開催し、助成者 92 名を含む 155 名の参加をいただきました。（前年度は助成者 84 名を含む 152 名）

5) 天田財団ニュースの発刊による普及啓発事業

「天田財団ニュース」は、助成した研究者の研究室紹介や財団の活動の近況を記事として掲載しています。本年度も年 2 回「天田財団ニュース」を合計 4,050 部発刊し、関係する研究者や公共展等で広く配布いたしました。（前年度は 4,000 部を発刊）

4. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成事業

厚生労働省所管の国家検定資格である「技能検定」の「工場板金」および「金属プレス加工」に係る受検手数料を助成することで「技能士」資格取得を支援するものです。2019 年度後期検定試験より「工場板金」について助成を開始し、2022 年度より「金属プレス加工」、2023 年度より「非接触除去加工（レーザー加工作業）」を対象に加え、2025 年度より後期に「鍛造」を加えました。

その結果 2025 年度は前期、後期あわせて延べ 120 団体 372 名に対し、総額 701.4 万円の助成を行いました。（前年度は 125 団体 409 名に助成総額 762.6 万円）

5. その他

2025年度事業活動の状況の詳細は、「2025年度事業報告 附属明細書」のとおりであります。